

教科	工業	科目	実習	単位数	4単位
学科	情報技術科	学年	3学年		
学習目標	工業の各専門分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。ハードウェアに関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育てる。また、各種アプリケーションプログラムに関する基礎的な操作技術を習得し、実際に活用できるようにする。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	<p>1 オリエンテーション (1) 安全(服装、態度等)、レポートの書き方</p> <p>2 プログラミング実習 (1) Visual Basicによるプログラミング (2) C言語によるプログラミング (3) レポート作成及び提出</p> <p>3 アプリケーションソフト実習 (1) Accessによるデータベース実習 (2) SQL言語によるデータベース実習 (3) 3Dモデリング実習 (4) レポート作成及び提出</p> <p>4 ネットワーク実習 (1) LANの構築 (2) UNIXの使い方 (3) レポート作成及び提出</p> <p>5 制御実習 (1) シーケンス制御 (2) レポート作成及び提出</p> <p>6 課題研究(卒業制作実習) (1) 電子工作 (2) 3D制作 (3) Windowsアプリケーションの製作</p>		<p>・実習における基本的な心構え、レポートの作成の留意点を理解している。 【A・B・D】</p> <p>・プログラムの作成方法について理解している。C言語では、2年次の実習内容を基に、より高度な内容について理解している。情報技術者としてより高度なプログラムに取り組める資質を習得しようとしている。【A・B・D】</p> <p>・各アプリケーションソフトの操作方法に習熟している。有効な利用法・活用法を理解している。また、パソコン上での自己表現方法と手法を習得しようとしている。【A・B・C・D】</p> <p>・ネットワーク技術について知識を深めることができ、基本的な操作設定を理解している。【A・B・C・D】</p> <p>・シーケンス制御の基礎的な内容について理解している。【A・B・D】</p> <p>・課題研究と連動して行う。自ら学び自ら考え、主体的に判断することができ、問題をよりよく解決するための資質や能力を習得しようとしている。 【A・B・C・D】</p>		
評価の観点	【A】関心・意欲・態度 【B】思考・判断・表現 【C】技能 【D】知識・理解				
評価方法	レポートの内容、出席状況、実習態度、実習意欲、実習に対する姿勢、服装等の総合評価				
教科書等	自作プリント				
備考	4班編成のローテーションで実習を行う。				

令和4年度 今治工業高等学校 シラバス
※評価規準は、学習の到達目標でもあります。